

# 言語文化 研究

15巻4号

2004年3月

March 2004 / vol.15 no.4

立命館大学国際言語文化研究所

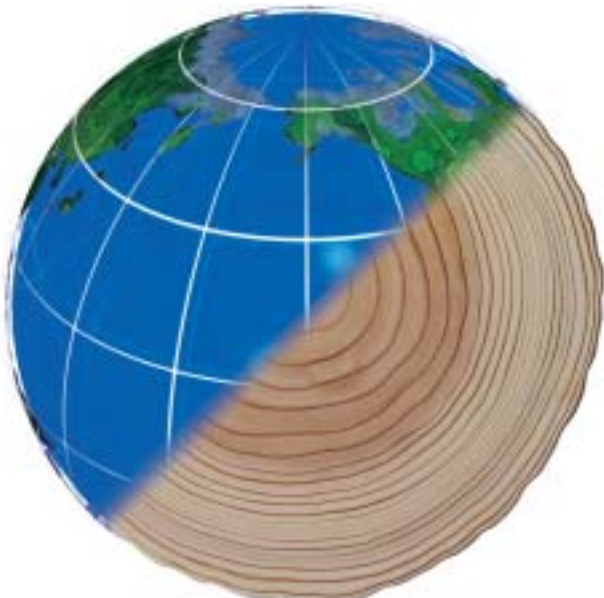
International Institute of Language and Culture Studies, Ritsumeikan University

特集

プロジェクトB1

ナショナル・アイデンティティの多層化と多文化社会の将来

1	序文	川上 勉
3	自己と他者 漢字論の視点から	子安宣邦
7	フランスにおけるイデオロギーの亀裂 1930年代から第二次世界大戦の時代	有田英也
25	日本におけるナショナル・アイデンティティ研究について 『ナショナル・アイデンティティ論の現在』を読む( )	渡辺和行
29	ナショナル・アイデンティティ権力への抵抗の死角 『ナショナル・アイデンティティ論の現在』を読む( )	中山智香子
33	近代フランス・ユダヤ人のアイデンティティ試論 長老会体制とフランコ・ユダイズム	加藤克夫
51	19世紀末フランスにおけるユダヤ人 ナショナル・アイデンティティに関する一考察	深田眞壽恵
65	民族ダンスの創造と国民国家フィリピン形成	木下 昭
77	女性と科学の親和性 ナショナル・アイデンティティの回路としての科学言説	伊東章子



89	ケベック・イタリア系移民文学が映すトランスカルチュラルizmと アイデンティティの変容 M. ミコーネ三部作 と Speak What 論争にそいながら	真田桂子
----	--	------

比較文化研究

101	はじめに	大空 博
103	新型肺炎の政治的・文明論的意味	竹内 実
109	グローバル化と戦争 イラク占領の「日本モデル」について	西川長夫
121	価値転換の政治学 ネオリベリズムの 脱政治化 言説批判	関 正則
141	脱コンテクスト化/再コンテクスト化を抗う力に変えて 沖縄をめぐる 復帰 の力学とグローバリゼーション	大野光明
157	エメ・セゼールの文明と文化	尾立要子
169	「韓国における帝国の傾向と構成」のために 浅羽祐樹/洪 鏡 基/浅羽祐樹(訳)	
181	9.11への2つの視点 2003年9月11日のニューヨーク・タイムズ 中野克彦	
193	テロとの戦い 報道と現実の間 9.11から「ブッシュの戦争」まで 大空 博	
207	マルグレ・ヌと「国民的記憶」に関する一考察 何のために語るのか 中本真生子	
215	エッセイ ドイツの学校教育と「へそ出しルック」	木村有伸

ホミ・バーバ講演会

グローバル・メジャー ポスト・コロニアル理論の現在と可能性

221	グローバリゼーションとマイノリティ文化 語る権利の復興に向けて ホミ・バーバ/本橋哲也(訳)	
233	コメント グローバルなマイノリティ文化と文学的な語り	西川長夫
241	コメント 中間領域 の声を聞く	本橋哲也

個別論文

245	Multicultural Identity Theories in the Field of Intercultural Communication	Lisa ROGERS
-----	--	-------------